

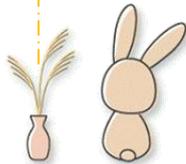


9月になると、じっとりとした暑さも薄れ、暦の上でも秋に入り、本格的に寒くなるまでのこの時季は、一年の中でも過ごしやすい季節です。子どもの頃を思い返しますと、行事も多かった二学期は、とても充実しており、仲間と過ごした楽しい季節が思い出されます。今思えば、行事の話をしたり、お弁当を作ってもらったりと、家族や周りのおかげで楽しく過ごせた気がします。子どもたちが楽しく過ごせるよう私たち大人も協力していきたいものです。



9月は地域の行事や伝統的な行事があります。今は薄れてしまった行事ですが、

9月9日は「重陽(ちょうよう)の節句」です。平安時代には、8日の夜に菊の花に綿をかぶせて、翌朝、その露でぬれた菊の香りのする布で肌をぬぐうと長寿を保てるという「菊の着綿(きくのきせわた)」という慣習が行われていたと、紫式部日記にも書き記されているそうです。この秋は、「秋祭り」や「お月見」など、様々な行事を楽しむのもいいですね。



マイナンバー徹底解説セミナー開催のお知らせ

平成27年10月から国民一人ひとりにマイナンバー(個人番号)が通知され、平成28年1月から社会保障、税、災害対策の行政手続きで必要になります。このため各企業においても従業員のマイナンバーの管理、運用などの準備(対策)が必要です。

- マイナンバー制度が導入されたら何が変わるの？
- うちのような小さな会社にも関係あるの？
- 今から取り組むとしたら、何から着手すべきなの？
- 「特定個人情報」って何？
- 個人情報漏洩対策って何をしたらいいの？



マイナンバー

そんな疑問を解消できる「マイナンバーセミナー」を下記の通り開催いたします。

日 程：2015年10月5日(月)
14:00~17:00(受付13:45~)
会 場：島根県芸術文化センター「グラントワ」

詳しくは担当営業マンにご相談下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

必要とされる人へ、必要とされる会社へ



株式会社 タイピック



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番
<http://www.typic.jp>

タイピックでは、OA機器・印刷・通信・ホームページ作成からスタッフの技術向上のお手伝いまで、オフィスの効率的な運営をサポートさせていただきます。

今月の社長のつぶやき

3年位前には早朝に7km程度歩いていましたから、夏場になると体重減となっていました。最近は早朝に読書をし、7時頃に出社しますから歩くことができずいたら、体重がオーバーぎみになったので昼食は野菜や果物だけで我慢していましたが、体重は減ることもなく67kg前後でした。(酒の飲み過ぎ)

知人のTさんが一日一食にして体調が良くなった。寝る時間が少なくなったと聞いていました。私が本屋にぶらりと寄ったときに『できる男は超小食』(船瀬俊介著 主婦の友社発刊)が目にとまり、即購入し完読しました。

本のなかには「小食」で頭がさえる。体がかかるくなる。集中力がアップする。疲れしない。短眠で大丈夫。若さがよみがえる。勢力絶倫。メタボ解消。細マッチョになれる。加齢臭が消える。お金の余裕が生まれる。時間の余裕も生まれるなどの効果が書かれていました。

この本を読んで自分の体で人体実験をしようと7月10日頃から一日一食にしました。(お客様や社員と同行している時は別)

始めたころは朝・昼に野菜や果物を軽く摂っていましたが、それでも若干の空腹を感じていました。我慢する心を鍛えようと、あえて空腹時にスーパーの食品売り場を何度か見てまわりました。空腹時は喉が鳴り思わず衝動買いをしそうになりましたが、我慢しながら見てまわり、おかげで今では朝・昼なにも食べずにいても我慢できるようになってきました。

本に書かれていた効果については体重が減った(3kg)、短眠ぐらいで酒量が多いせいかまだ顕著にあらわれたものはありません。これから効果を発揮できるように努力しましたらご報告したいと思います。

現在実践中もの『安岡正篤の一日一言を1,095日葉書に書き写す(260日継続中)』、『一日一時間以上の読書』、『一日一食』、『稲盛和夫 心を高める、経営を伸ばすの書き写し』

代表取締役社長 岡崎純二



タイピック社内木鶏(月刊「致知」を読んだ感想)

我が人生、我が経営 Y・K

自分のできる最高の努力をどれだけ続けていけるかという言葉が特に印象に残りました。最初からいい結果を出すことができなくても、その中でその時できるだけの最高の努力を続けていくことで自分の能力を毎日少しずつでも向上させていけるということに気付きました。目の前のことを地道にコツコツと続けていくことは簡単なようで難しいことですが、その継続によって自分の成長もできると思いました。

自分の中での最高のレベルを毎日少しずつでも上げていき、それを結果につなげていきたいと思っています。また、努力というものに上限はないのかもしれませんが、自分で勝手に限界を決めずに日々上を目指していき、成長には時間がかかるのかもしれませんが、途中であきらめることなく、努力を続けていきたいと思っています。



兎澤直樹の「兎に角」伝えたいこと

『褒める文化』



みなさん、こんにちは。株式会社 船井総合研究所の兎澤（とざわ）と申します。

今回で14回目の掲載となります。よろしくお願いいたします。

船井総研という会社は、主に中小企業様の業績アップのお手伝いをしている経営コンサルティング会社です。

前は、「採用強化型コーポレートサイト」をお作りいただくことをオススメし、そのポイントをお伝えしました。

さて今回は、「褒める文化」についてお伝えしたいと思います。

みなさんの会社では、社員同士が褒め合う文化はありますか？

素晴らしい会社と言われる会社は、この文化があるものです。お互いがお互いを尊敬し合っているのです。一方で、あまり雰囲気良くない会社は、相手の嫌な部分ばかりが目についてしまい、ギスギスした雰囲気をしているケースが多いです。そのような場合、お客様への対応にも少なからず影響が出てくる場合があります。

他の社員の良い部分に目を向けることに慣れていけば、お客様の良い点を見つけることができ、それを素直に伝えることでお客様と良好な関係を築くことができます。逆に、他の社員の悪い部分に目を向けることに慣れていけば、お客様の嫌な部分も自然と目に入ってきてしまうのです。人は誰でも、長所もあれば短所もあります。短所ばかり目についてギスギスするより、長所だけを見て短所は放っておいた方が良いでしょう。相手がしてくれたこと、小さな心遣い、その人の長所に素直に感謝し、それを伝えることが大切です。その連鎖が、お互いを褒め合う、相手を尊重し合う風土を作るのではないのでしょうか。誰でも、ギスギスした雰囲気より、お互いが自己重要感を感じられる素晴らしい雰囲気で行きたいはず。そのためには、相手が褒めてくれない、認めてくれないと待つのではなく、自ら相手に言葉として感謝を伝え、小さなことでも褒めてみるようにしてみたいかがでしょうか。なかなか照れくさい部分もありますが、それを乗り越えて自然に伝えられる素晴らしい風土を作りたいものですね。

SAからのお勧め情報



タイピック営業担当者によるお勧め情報のコーナーです。

今回は、OA事業部営業の大庭がお届けします。



前は、料理のレシピを掲載させていただきましたが、今回は、先月から趣味で始めたレザークラフトについて少しご紹介できたらと思います。

「レザークラフトってなに？」という方もおられると思いますので簡単に紹介をさせていただきます。レザークラフトとは、読んで字のごとくレザー（革）を使用してキーケースや小銭入れ、レベルの高い人は、お財布だったり靴を作る人もいます。

自分が始めたきっかけは、同僚からレザークラフトしないの？って言われたことからでした。レザークラフトのことを全く知らず調べるところから始め、すぐに道具をそろえて1日かけてインターネットの動画を参考に、見様見真似でキーケースを作りました。

初めての経験で上手く作れませんでした。自分で作った物は愛着もあり革製品なので使えば使うほど馴染んできて良い感じです。

もし、興味がありましたら営業で私が伺った際にでもお気軽にお声かけいただき実際の物を見ていただけたらと思います。



キーケース開

ゆっくりやさしいパソコン教室 生徒さんの声

津和野教室 村橋さん 78歳

徳佐の生雲から津和野教室に通っています。長年趣味で俳句をしており、その中の津和野を詠んだ8句を、教室で覚えたワードでA4一枚に風景写真入りで作りました。

パソコンで身につけたことを趣味に生かすことができ、パソコン教室に通う日がとても楽しみになっています。



浜田教室 S・Hさん 68歳

教室に通い始めて三年目を迎え、人付き合いの少なく会話が苦手な私なのですが、教室に通いお茶を飲みながらいろいろな話を聞くのが楽しみです。

ワード・インターネット・お絵かき・水彩画とすすみ、今はエクセルに挑戦中。お絵かき・水彩・手作りカレンダー・年賀状と自分だけのオリジナル作品作りを楽しんでいます。

百回とは言わないけれど何回も同じことを聞いています。



萩教室 N・Sさん 60歳代

パソコン教室には今年の4月から通いはじめて5ヶ月目になります。始めは私に出来るかなと不安いっぱいでしたが、ゆっくり自分のペースで出来るので少しずつですがパソコンを使えるようになってきているのが嬉しいです。

10分間の休憩時間も楽しみの一つです。美味しいお菓子やコーヒーを飲みながら他の生徒さんといろいろな会話して気分をリフレッシュできます。

パソコン教室での友達も出来て、とても充実しています。



廿日市教室 新谷和子さん 62歳

パソコンは、あるきっかけからやってみようかと思うようになり、友人からこの教室を紹介されました。私にできるだろうかと心配でしたが、自分のペースで、何度聞いても答えて下さる先生方のきめ細かい御指導により今では毎日の楽しみとなっています。時々、困難もやってきますが、教室の皆さんの励ましや先生方の心行き届く御配慮で続けてられています。パソコンを通じて世界が広がり人間の輪も広がる楽しい体験をさせて頂いています。



宇治教室 近藤計正さん 75歳

仕事を離れ、6年ほどぼやっとしていて、体が何かしたいとムズムズしていたある日、突然教室の近くを通っているとき、ひらめいて訪ねました。

良い先生に出会え、何度も何度も分かるまで努力をして、段々上達しているように自分では思います。インターネットを使い、ホテルを予約して旅行に行けるようになったのは感激でした。今年は地域の役を仰せつかり、早速、習っていたことが役立ち、あ那时候、ひらめいて習いに来ておいて良かったと感じています。



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします